



シンポジウム

デジタルアーカイブで地域の課題を解決できるか ～白山文化を事例として～

パネリスト

「白山芸能とデジタルアーカイブ」

曾我孝司氏(郡上市文化財保護審議会委員)

「美濃馬場の文化財とその保存活用」

藤原 洋氏(郡上市教育委員会社会教育課)

「加賀馬場と文化の再発見」

小阪 大氏(白山市教育委員会文化財保護課)

「越前馬場と文化財の保存活用」

宝珍伸一郎氏(勝山市教育委員会世界遺産推進室)

「地域資源デジタルアーカイブと地域活性化」

長丁光則氏(東京大学大学院特任教授)

コーディネーター

久世 均氏(岐阜女子大学)

【コーディネーター（久世）】 皆様、こんにちは。岐阜女子大学の久世と申します。

これからデジタルアーカイブで地域の課題を解決できるのかと、非常に難しいテーマでございますけれども、今回、白山文化というものを事例としてこのシンポジウムを開催させていただきたいと思っています。1時間半になりますけれども、よろしく願いをいたしたいと思っています。

今回のパネリストには、白山文化遺産についての各地域から見た白山文化というテーマで、いわゆる岐阜県のみならず、県域を超えて白山文化を自由に語っていただくというふうにして、各県域の白山文化にかかわる専門家に来ていただいております。

早速それでは、本シンポジウムのパネリストを御紹介させていただきたいと思います。

まず、向かって左側の方から、「白山芸能とデジタルアーカイブ」という視点でお話をいただきます、郡上市文化財保護審議会委員の曾我孝司先生です。よろしく願いいたします。（拍手）

次に、「美濃馬場の文化財とその保存活用」というテーマでお話をいただきます、郡上市教育委員会社会教育課の藤原洋先生です。（拍手）

続きまして、「加賀馬場と文化の再発見」というテーマでお話をいただきます、白山市教育委員会文化財保護課の小阪大先生です。よろしく願いいたします。（拍手）

きょうはシンポジストが結構たくさんいらっしゃいます。

続きまして、「越前馬場と文化財の保存活用」という視点でお話をいただきます勝山市の教育委員会世界遺産推進室の宝珍伸一郎先生です。よろしく願いいたします。（拍手）

最後に、本シンポジウムのテーマとつながりますけれども、「地域資源デジタルアーカイブと地域活性化」というテーマでお話をいただきます東京大学大学院特任教授の長丁光則先生です。よろしく願いいたします。（拍手）長丁先生には、デジタルアーカイブに関する国の動きも含めてお話をいただけるものと思っております。

さて、岐阜女子大学では、お手元にこういうリーフレットをお配りさせていただいているかと思えます。

平成29年度に文部科学省より、岐阜県内で唯一、私立大学研究ブランディング事業に採択をされております。研究の目的は、お手元のリーフレットにも書いてございますが、地域に根差し地域社会に貢献する大学として、大学独自で育んできたデジタルアーカイブ研究を活用して、地域資源のデジタルアーカイブ化とその展開により、伝統文化産業の活性化など地域課題の実践的な解決や新しい文化を創造できる人材育成、そういうことを行っていながら、地域の知の拠点となる大学を目指していきたいというふうに考えているところでございます。

本フォーラムでは、本学がデジタルアーカイブを研究する大学であることをご理解いただくとともに、地域と大学が密接に連携をしてデジタルアーカイブの研究を推進し、地域で新たな価値を創造できる人材を養成すると、そういうことを目指す大学であるということを宣言するために毎年各地で開催をさせていただいております。